

平成26年度
行政の視察報告

市民21

◎参加者

国本一夫、嶋崎富勝、小久保重孝
吉野英雄（無所属・共産党）

◎期間

平成26年11月4日(火)～6日(木)

◎調査場所・目的

○滋賀県長浜市
NPOまちづくり役場

★観光とまちづくりについて

黒壁・ガラス細工で有名な長浜で、観光客の動向と観光をまちに活かす取組について伺った。思いがけなかつたのは、商店街を活性化するのは商店主では

なく、その外側において長浜の良さをよく知っている人だという話し。逆に商店主はNHKの大河ドラマを頼りにするばかりで、

その時々で来客は増えるものの、実際は十分な利益も得られず、お祭りのような繰り返し。何より大事なことはイベント頼みではなく、経営の勉強をしつかりして、時代の流れを読むことだという話が印象的でした。

○福井県敦賀市

★学力向上の取り組みについて

福井県は秋田県と並ぶ全国学力テスト優秀な県。敦賀市の教育の特徴は2学期制と市独自の学習指導要領を持っていること。「つるがの子」として歴史を学び、地域を誇りに思う教育もなされています。何よりの違いは、市独自で予算化し現任教員を指導主事に抜擢して現場の教員と共に学習の中心

を向上させていること。また6年目となる教育長がベテラン教員であったこともポイントでした。教育現場と教育委員会が一体となることで、地域と家庭と学校の連携が目に見える形で子供たちの学力向上につながっていることがわかりました。



敦賀市教育長 下野弘喜氏による説明の様子

○愛知県高浜市

★公共施設マネジメントについて

国の呼びかけで始まる公共施設管理計画の先進事例が高浜市の取組。高浜市は老朽化している公共施設の修繕や建て

直しについて平成26年度から63年度までの長期計画をまとめました。試算では今後40年間で114の公共施設を更新する費用は522億円。これを計画策定することで半分のコストにしようという取組。推進のためのキーワードは「減らす」そして「複合」。学校、地域の集会所も公共施設として大事な施設だが、減少する人口と歳入を考えれば、長寿命化、そして新設、廃止の根拠を明確にしていくことがポイント。特に現状を可視化させることで市民ひとりひとりの理解につながっていく取組が大事な点であることを教えていただきました。

他団体会議報告
10月1日(水)・11月27日(木)



◆西胆振消防組合議会

吉村俊幸、原見正信、国本一夫
●平成26年10月1日(水)伊達市消防防災センターにおいて、平成26年第2回西胆振消防組合議会定例会が開かれました。

議案は、
①北海道市町村職員手当組合を組織する団体の増加及び北海道市町村職員手当組合規約の変更について

②平成26年度西胆振消防組合一般会計補正予算
③平成25年度西胆振消防組合一般会計歳入歳出決算
以上、3案件は原案のとおり可決しました。

●平成26年11月27日(木)伊達市消防・防災センターにおいて、平成26年第2回西胆振消防組合議会臨時会が開かれました。

議案は、
①西胆振消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
以上1案件は原案のとおり可決しました。